

魚津市定例記者会見 4月

日時：平成26年4月1日（火） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
毎日新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、NHK富山放送局、
NICE TV、新川コミュニティ放送

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 富山県東部消防組合消防本部指令センターについて

3月26日に指令センターが開所し、本日より本格運用が始まった。組合発足してから1年になるが、広域化のメリットも表れてきた。今後、安全・安心のための防災体制も含め強化されていくものと期待をしている。

(2) 富山労災病院新棟整備工事について

魚津市の市民病院ともいえる富山労災病院の新棟整備工事の安全祈願祭が3月28日に行われた。新年度はいよいよ新築に向けた槌音が響いていくということで市民の健康を守る大きな拠点整備がされていくことを喜んでいる。

(3) 消費税率アップ（5%から8%へ）について

市民生活に影響が出るのではないかとされており、しばらくは予断を許さない状況であると思っている。

(4) 各種イベント

①第34回魚津しんきろうマラソン

4月27日（日）に開催されるが、3月31日現在の申込者数は5,631人と前年を上回っている。市体育協会を中心とした市民の手作りマラソン大会が30年以上も継続されていることで関係者には感謝申し上げる。

②第2回よっしゃこいCHOUROKUまつり

昨年、有志の若者が実行委員会を立ち上げ第1回のまつりを開催し大盛況であった。今年も実行委員会はたいへん力が入っている。今回も内外から多くの人に来てもらえればイベントとして定着するだろうと大いに期待をしている。市民課前にカウントダウンの表示もしている。皆様の支援をお願いしたい。

(5) のど自慢グランドチャンピオンについて

魚津市在住の櫻井麻那さん（高2）が、3月1日にNHKホールで開催されたのど自慢全国大会で優勝し、グランドチャンピオンとなった。若い人の活躍が市の活性化にも寄与していくものと思う。

(6) 26年度予定する新たな計画等の住民説明会

①市民参画・協働指針を作成した。市長就任以来、地域のことは地域でという方針を掲げてきた。地域振興会も今後1～2年のうちに全地域で活動体制ができあがる見込みである。市民の皆さんの中に入って具体的な説明会等を開きながら全地区で自治の気風づくりにつなげたい。

②学校規模の適正化については教育委員会が中心となって今年度早めに各地区へ出かけ統廃合の問題なり児童減少時代に向けた意見交換を行いたい。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「たてもんのユネスコ無形文化遺産登録候補について」

《記者からの質問》

候補になったことを市の活性化にどのように役立てるのか？具体策は？

《回答》

魚津まつりのメイン行事であり、その他イベントでも集客効果を発揮している。平成24年度に全国山・鉾・屋台連合会の総会が魚津市で開催された時にたてもんの曳き回しを披露し、住民あげて参加する形が大変評価された。北陸新幹線の開業後は県内で候補に挙げられた3つの祭（たてもん、高岡御車山、城端曳山）がそれぞれに魅力をアピールし、観光振興や交流人口の増につながることを期待している。昨年のおっしゃこいCHOUROKUまつりにはたてもん1基を出してもらった。たてもんまつりを継承していくために、このように若者にも（たてもん祭りに）関心を持ってもらう機会を設けていきたい。ユネスコ（無形文化遺産）登録となれば市から（たてもんまつり保存会へ）の支援も検討したい。

「パナソニック・タワージャズセミコンダクター社の開業について」

《質問》

本日より開業となるが、セレモニーなどはないか？

《回答》

生産部門の合弁会社を作ったということで、工場や生産ラインもそのままである。懸念していた社員の雇用等も希望が尊重されたと聞いている。セレモニーなどはないが今日は経営陣が県知事にあいさつされてから本市へ来られる予定である。

「生物多様性うおづ戦略について」

《質問》

全国的にも取り組みは進んでいるのか？

《回答》

まだ少ない。魚津は早いほうである。

《質問》

立山黒部ジオパークでもこれを活用するのか？

《回答》

学ぶ、生かすという面での活用が期待できる。

《質問》

連携という意味で、三太郎塾や水循環とリンクした新しい展開はないのか？

《回答》

自然は大事な資産であり、地域の活性化に結び付けていくことが大切と考えている。まずは学ぶことから始め、やがて保存・活用へつながっていくもので、三太郎塾と同じ発想である。